



その他（主に当施設で研修医教育に使用するスライド）

- 患者情報の院内一元化管理とマネージメントの大切さをともに学ぶ
- 地域へ出向き、歯科医療ボランティア活動の実践を学ぶ
- 医療事故、危機管理に対する薬物機器類の操作方法等の実習（医療機器メーカーの協力による）
- 歯科医の社会的価値、歯科診療を通じて仕事の価値を楽しめる環境作りを心がける

歯科を楽しめる環境づくり

- 歯科医師になれば将来はばら色だ・・・
- 患者さんに喜んでもらえる喜び・・・
- スタッフに喜んでもらえる喜び・・・
- 家族や友人に喜んでもらえる喜び・・・
- 自分の仕事が収入に結びつく喜び・・・

必ず よい結果が生まれる ことを、日々の地道な努力が無駄にならないことを信じる。

地域医療における 歯科医としての価値の認識

- まだまだ将来有望な明るい歯科診療環境。
- 学生生活とはまったく違う生活、歯科医師として、リセット、再スタートができる。
- 患者さんとのコミュニケーション（インフォームド・・・）も楽しい。
- 自分の置かれた立場や歯科医療環境をなげかず、自分に出来ることから歯科医師としてスタートしよう。

研修医の皆さん 歯科をもっと大好きになろう

歯科をライフワークとして取り組むなら、「好きな仕事」と、「いやな仕事」との差は一生通じて計り知れない価値の差が出来るでしょう

常に自分の中で 「歯科医の 未来形」 を追い求める

実践できていることの上に理想と考えている形を、これからの夢として・・・自分にとっての歯科医の**未来形**を探る

グループ診療の勧め （チーム診療）

患者さん、スタッフと共に楽しみも、苦しみも共有できるような診療所が構築できれば・・・これからの厳しい時代も怖くない、理想かな・・・？

Hospital ⇒ 病院

(Hospitality)

手厚いおもてなし

医療の基本的な精神を
養える環境作り

歯科医師臨床研修推進検討会 意見書

平成19年10月2日

日本大学松戸歯学部付属病院協力型臨床研修施設

(医) 金尾好章歯科医院 (和歌山市)

臨床研修指導医 金尾好章

はじめに、

歯科医師臨床研修制度も完全実施と義務化され、私ども協力施設側も改めて身の引き締まる思いで日々研修医の現場指導にあたっているのが実状です。

今回光荣にも、より将来的な臨床研修制度への改変に向けた推進検討会へ意見を述べさせていただける機会を頂戴し、責任の重さを痛感している所存でございます。

さて、歯科医師を目指す学生は6年間にわたる長い教育期間と卒業前5～6年次には診療参加型臨床実習を伴う研鑽を長時間義務付けられているのは承知の事実であります。

近年、卒業時の歯科医師国家試験を試される前に4年次においてコンピュータを活用した CBT 試験と客観的臨床能力を問われる OSCE 試験等で、さらに高いハードルを超えた専門知識や高度な技術を身につけた卒業生がでてくるものと思われまます。

これまでの生化学、薬理学、保存学、補綴学等の項目に加えられる臨床専門分野からさらに「医の原則」、「歯科医師としての基本的な態度」、「社会と歯学」、「生命科学」という歯学生が身につけておくべき普遍的な医学的知識が追加要求されることから、歯学教育も既に新しい時代に向けた制度に変わり、着々と実績を積み重ねている姿が、大学から遠く離れた街で開業する一臨床家としても、この大きな変化を認識せずにはられません。

当施設における臨床研修医に対し特に力点を置いている事項(スライド)の若干の補足説明を行ないます。

卒後間もない臨床研修医へ、特に力を入れている点 ①

おそらく歯科医がこの世に生まれてから職業的能力として手先の器用さや短時間に仕事を要領よく身につける能力を常に問われてきたような気がします。

特に卒後間もない研修医はとかく手技を中心とした技術的評価を自ら高めようとする努力する傾向が強いことは決して間違いではないが、主な歯科的疾患である、カリエスや歯周病の発症メカニズムを念頭においた、先ず的確な診断力を身につけ、治療方針や術後の長期的な経過を予測する能力を高めることこそ大切と思われる。

これからの国民、患者さんが真に求める歯科医療の原点は、その疾患を発症前にコントロールできる歯科医が、高度な手技を持つ歯科医以上に評価されることを理解する必要があるだろう。

卒後間もない臨床研修医へ、特に力を入れている点 ②

患者さんから信頼される人間性豊かな医療人になるためには、一般臨床歯科医としての基本的な知識や技能を高めるのはもちろん、歯科医師としての診療方針や医院の診療コンセプトを明確にすることを理解する。

しかも、その内容を 誰にでも解りやすく表現できる 能力を真っ先に身に付けることが必要です。

卒後間もない臨床研修医へ、特に力を入れている点（将来的概論） ③

- 21世紀の歯科医師は世界中の最新の専門的知識・技術をインターネットを通じて得ることができる。
- 最新の専門知識や高度な技術を全ての患者さんにあてはめるのではなく、個々の患者さんの病態や抵抗力、疾患に対するリスクに個体差があることへの客観的な認識が必要である。
- 患者さんからはよりきめ細かい対応が常に求められ、患者自身のデータやカルテの共有が常識となりつつある。

その他（主に当施設で研修医教育に使用するスライド）

- 患者情報の院内一元化管理とマネージメントの大切さをともに学ぶ
- 地域へ出向き、歯科医療ボランティア活動の実践を学ぶ
- 医療事故、危機管理に対する薬物機器類の操作方法等の実習（医療機器メーカーの協力による）
- 歯科医の社会的価値、歯科診療を通じて仕事の価値を楽しめる環境作りを心がける

歯科を楽しめる環境づくり

- 歯科医師になれば将来はばら色だ・・・
- 患者さんに喜んでもらえる喜び・・・
- スタッフに喜んでもらえる喜び・・・
- 家族や友人に喜んでもらえる喜び・・・
- 自分の仕事が収入に結びつく喜び・・・

歯科医師という職業が資格を手にしただけでは素晴らしい職業には成りえず、その後の歯科医師人生はその方そのものの努力、とりわけ高度な専門的技術や知識への研鑽は、その個人の努力の結果であると思われまます。

しかし、まだ駆け出しの新人歯科医師である研修医がこの職業に対しての将来的な不安をこの時期に払拭しておく、自らの能力を高めることで素晴らしい職業につけた喜び

を感じながら夢を膨らませてゆける職業であって欲しいと思います。

研修期間のこの一年は、自分の将来は必ずよい結果が生まれることを、日々の地道な努力が無駄にならないことを信じられる環境、研修施設を提供することも大事と考えます。

地域医療における歯科医としての価値の認識

- まだまだ将来有望な明るい歯科診療環境。
- 学生生活とはまったく違う生活、歯科医師として、再リセット、再スタートができる。
- 患者さんとのコミュニケーション（インフォームド・・・）も楽しい。
- 自分の置かれた立場や歯科医療環境をなげかず、自分に出来ることから歯科医師としてスタートしよう。

医科、歯科を問わず地域医療の末端である一開業医としての医療現場や、大学の歯科教育現場においても、誠に残念ながらこの仕事の将来を嘆く風潮は極一部の方々だけではなく蔓延しているといっても過言ではないと思われます。

しかし、すべての事柄が研究され尽くされ、歯科的な疾患そのものが根本的な解決策が既に実施されつくされたわけでもありません。

反対に医科・歯科連携による新しいジャンルの開拓や、専門大学での高度な研究成果の結果、より歯科医療の守備範囲が広がり、今後益々、国民から高度な歯科医療の提供を叫ばれ、この歯科の仕事の価値をより高度に認知されることも十分に考えられる職業と認識すべきと思われます。

特に、若い研修医には将来的な魅力ある仕事につき、価値ある仕事への関わりを誇りに思いながらの研修期間であって欲しいと願います。

研修医の皆さん歯科をもっと大好きになろう

歯科をライフワークとして取り組むなら、「好きな仕事」と、「いやな仕事」との差は一生通じて計り知れない価値の差が出来るでしょう

常に自分の中で 「歯科医の未来形」 を追い求める

実践できていることの上に理想と考えている形を、これからの夢として・・・自分にとっての歯科医の未来形を探る環境作り。

Hospital ⇒ 病院 (Hospitality) 手厚いおもてなしが基本

これからの歯科臨床研修施設は若い歯科医師がこれから取り組むべき歯科医療の基本的な精神を育む環境作りがより求められるであろう。

まとめ、

現在の臨床研修医は歯科医師国家試験を合格し、それまでの長期間にわたる高度な専門知識と技術の習得により、歯科医師としての基本的な要件は十分に満たしていると思われます。

ただし、大半の臨床研修医は自身の歯科の職業としての将来に大きな不安を抱えながら、研修施設である医療現場に出向いてくる傾向が強く感じ取れます。

歯科医師になるまでの充足した家庭環境からの甘えや、苦学した教育環境のみならず、将来のこの仕事に対する不安要素を自然と取り込んでしまっていると思えます。

いつの時代にも、どんな職業にも将来的な不安と時代の流れが存在することを認識させ、その不安の払拭と、これからの歯科の新しい時代の流れを作るのは、研修医である自分自身であることを6年間の大学教育も含めて一連の臨床教育として必要と思われれます。

今後は、当施設においても研修医における精神面の不安要素を少しでも緩和でき、その方の将来的な職業・仕事に対する価値観のモチベーションの上昇につなげられる研修施設となれればと考えています。